

ネットを賢く安全に使うために

家庭や地域ができることを考えましょう

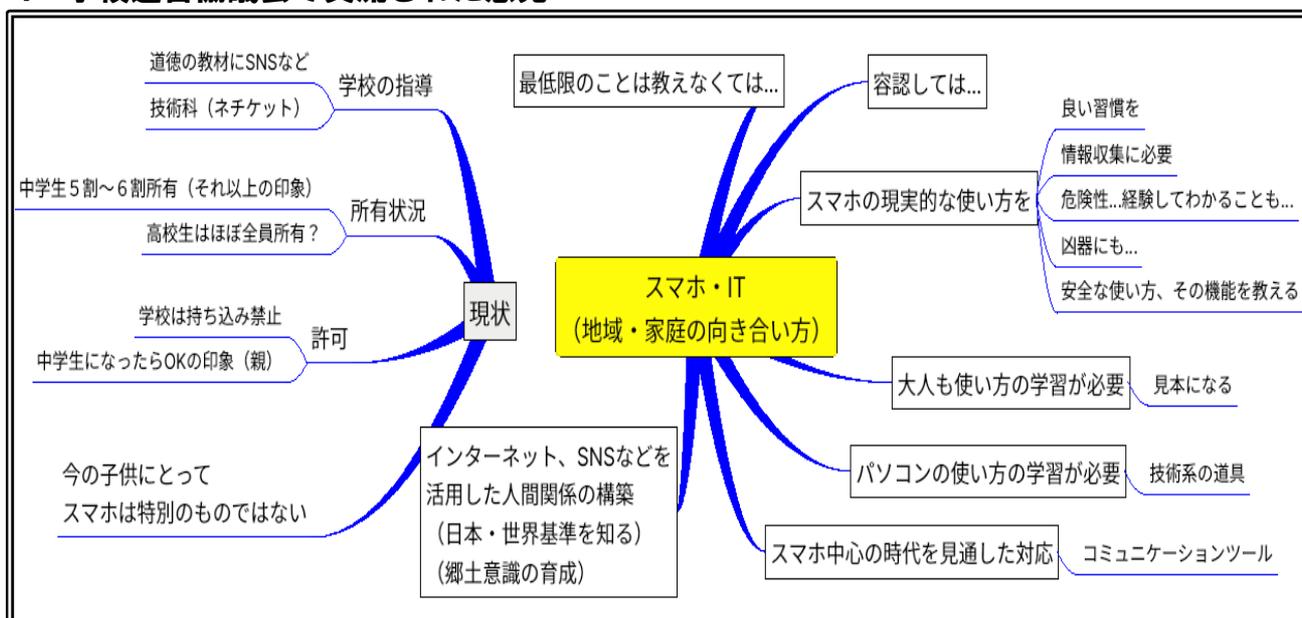
広尾中学校運営協議会長 大林 勝則

第2回学校運営協議会では、コロナ対策の中で注目されているICT（情報通信機器）の利活用にかかわって、スマホ使用の実態や学校の指導、保護者のかかわり方が重要なテーマになりました。

スマホ所有の実態を踏まえ、「持たせる・持たせない」の議論に終始することなく、情報収集やコミュニケーションの強力な手段となるICTを、子どもたちが安全に安心して使えるよう、大人自身の問題として関心をもっていただきたいと思います。

限られた紙面ですが、協議会の意見や幾つかの資料を掲載しましたので、お子さんや保護者同士、先生方との話し合いの参考にさせていただければ幸いです。

1 学校運営協議会で交流された意見



2 スマホ・ゲームに関するQ&A (内閣府等2020年1月発行リーフレット幼児児童編から)

Q 子どもがゲームをしたいと言います。親はどう対応したらよいでしょうか？

A 子どもをゲームで遊ばせる場合は、保護者がゲームの内容や使用時間について判断し、上手にコントロールしてあげることが大切です。

Q ゲームの内容が、子どもに遊ばせても良いものかどうか正しく判断するにはどうしたらよいですか？

A ゲームソフトやアプリに表示されている「〇歳以上」という年齢区分を活用しましょう。

Q 子どもがスマホやゲームに熱中しすぎて、生活リズムをちゃんと守れるか心配ですが？

A 使用時間などをルール化して、生活リズムを守るよう促します。フィルタリングを始めとするペアレンタルコントロールを活用し、使用時間や利用環境を整えてあげましょう。

Q スマホやゲーム機の使い方について、どんなルールをつくったらいいですか？

A まずは大人がお手本に。家族みんなでルールを決めて守りましょう。

3 年齢や力量に合わせた手助けを (内閣府等 2019 年 1 月発行リーフレットから)

インターネットを安全かつ適切に利用するためには、お子様の年齢や力量に合わせた手助けが必要です。そこで、お子様の能力・発達および日常生活に見合ったインターネットの使い方を、ご家庭で考えてみましょう。

重要なのは、お子様が納得できるルールを決めること。また、ルールを守れなかった時のための対応も話し合っておきましょう。

STEP 1 初めてのインターネット期

サイトや動画の閲覧のみ許可し、SNS等は禁止



利用時間を家庭で決める

生活のルールやリズムを守ることを前提に、利用時間をご家庭で話し合っ
て決め、インターネットを見て楽しみます。
この段階では閲覧のみに制限しま
しょう。

各段階でのルール例

ルールはステップアップのタイ
ミングで達成・継続・調整・
追加などを話し合います。

- ゲームとネットを合わせて、使っているのは1日____分までです。
- 保護者にことわって、近くで使います。食事中や車の中では使いません。
- 夜____時以降は使いません。リビングで充電します。

STEP 2 インターネットレベルアップ期

家族間に限って、メールの利用を認める



家族限定でコミュニケーション

利用時間のルールを守れ、使い方にも慣れたら、家族間でメールをやりとりしてみましょう。文章の書き方など、上手な気持ちの伝え方をアドバイスしましょう。

- 家の中ではリビングで使います。
- 話しかけられたら手を止め対応します。
- 決まった人からのメール以外、返信やアクセスはしません。
- 変わったことや困ったことが起きたら、すぐに相談します。
- 公共の場で利用する時は、ルールやマナーを守ります。

STEP 3 SNSデビュー期

顔を知っている友人や知人に限定してメールやSNSの利用を認める



友人知人とのやりとりもチェックを

メールの利用に慣れたら、仲の良い友人や知人に限り、SNSやメールを許可します。
家庭内のコミュニケーションを保ち、ときどきやり取りの様子を見せてもらいましょう。



- 自分や友だちの個人情報(名前・住所・学校名など)、写真はネットに公開しません。
- メールやSNSは実際に会ったことのある友だちだけにします。
- 自分が言われて嫌な事や悪口はSNSやメールで送りません。
- 目的をもって利用します。目的を終えたらスマホから手を放します。

STEP 4 SNSレベルアップ期

ネットを介して知り合う人とのコミュニケーションを認める



※保護者の同意や許可を必要とするサイトが多い

自由に楽しませつつも見守りを

家庭のルールや社会規範に加え、ネットの特性を理解できる段階になれば、広く活用を許可しましょう。ただし、危険な行為や、犯罪に巻き込まれることを防ぐため、使い方を把握し、必要な注意やアドバイスをしてあげることが大切です。

- ネットやSNSで知り合った人とは直接会いません。
- ネットで買い物やお金のやり取りをする時は、保護者の許可を得ます。
- ネット上に公開する内容は、送信前にしっかり見直します。
- 他人にIDやパスワードは絶対に教えません。
- 毎月の通信量(料)をチェックし、計画性をもって利用します。

※保護者の同意や許可を必要とするサイトが多い

紹介したリーフレットのリンク⇒https://www8.cao.go.jp/youth/kankyuu/internet_use/

「ネットでも 画面の先には 人がいる」 札幌市立藻岩小学校 6年 宮本羽優菜

「考えて 直接言えるの? その言葉」 北斗市立上磯中学校 2年 丸山 風太

令和元年度「いじめ・ネットトラブル根絶!メッセージコンクール」全道審査最優秀作品